

平成26年度事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1 概要

平成26年度においては、公益目的事業63事業、収益等事業18事業、合計81事業を実施しました。

公益目的事業のうち「畜産経営の安定を図る事業」においては、特に購入飼料費及び導入費の上昇の影響を受けた肉用牛肥育経営に対して、肉用牛肥育経営安定特別対策事業の補てんが交雑種を中心に行われ、その事務を行いました。肉用子牛、肉豚においては、販売価格の上昇等により基金の発動は行われませんでした。「畜産経営の向上を図る事業」においては、経営実績に基づく改善情報の提供や調査を継続的に行ったほか、畜産ABL等の新しい資金調達の可能性について検討を行いました。また、関係機関との連携のもと、畜産経営の第三者継承を実現させました。「家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業」では、予防衛生を促進するためのワクチン接種、オーエスキー病清浄化、BSE対策としての死亡牛処理円滑化等の事業を前年度に引き続いて実施するとともに、農場HACCPなど生産段階における安全性確保への新しい取り組みに対して支援を行いました。また、畜産への消費者の理解を促進するために、牧場体験やイベントにおける広報活動を実施しました。さらに、「家畜の能力向上を促進する事業」では、優良種畜の導入や飼養頭数増加に取り組む生産者への支援のほか、平成29年度に開催予定の全国和牛能力共進会への出品牛選定のための具体的な取り組みを開始しました。

収益等事業では、乳牛、和牛、豚、山羊の各家畜の血統登録を積極的に推進したほか、養豚の価格差補てん事業への参加に必要な事務を生産者から受託して行いました。また、3か年に亘って汚染牧草地の回復作業を土地利用者に委託して行った事業が完了しました。

平成26年度においては、本会が実施する肉用牛の価格差補てん関係事業への参加頭数、家畜登録・登記頭数のいずれにおいても、生産基盤の縮小によるとみられる影響が顕著になっています。畜産を取り巻く中長期的な課題や実態を十分に踏まえ、生産者の事業継続への意欲を高めるための事業、取組を活発化させる必要があります。

2 事業の実施状況

(1) 会計区分別実施事業内訳

会計区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
公1(1)経営安定支援	6			1			1	8
公1(2)経営向上支援	7	1		6			8	22
公1(3)安全・理解	6	1		7			7	21
公1(4)能力向上	6		1	2			3	12
収1(1)家畜登録					6		1	7
収1(2)生産者事務						1		1
収1(3)団体事務						8		8
他1(1)畜産振興							2	2
合計	25	2	1	16	6	9	22	81

(2) 補助元等区分別実施事業内訳

補助元等区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
農林水産省	4							4
農畜産業振興機構	9			1				10
群馬県	9			1				10
地方競馬全国協会	1							1
中央団体	2	2		14				18
畜産協会			1		6	9	22	38
合計	25	2	1	16	6	9	22	81

3 事業の実施内容

(1) 公益目的事業

公1(1) 畜産経営の安定を支援する事業 (ア)

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛の売買価格が保証基準価格、合理化目標価格を下回った場合に生産者補給金を交付する肉用子牛生産安定特別措置法に基づいて、生産者からの申し込みにより肉用子牛の個体登録事務をおこないました。なお、子牛価格の動きを反映して、補給金の交付はありませんでした。

契約戸数： 452 戸

登録頭数： 11,353 頭

(黒毛和種 2,275 頭、交雑種 7,063 頭、乳用種 2,014 頭)

イ 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度の事務推進に対する補助を受けました。

ウ 肉用子牛生産者補給金制度運営体制支援事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施に必要な事務体制の整備に対する補助を受けました。

エ 肉用牛繁殖経営支援事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛売買価格が発動基準を下回った場合に差額の一部を補てんする事業ですが、前年度に引き続き発動はありませんでした。

対象戸数： 145 戸

公 1(1) 畜産経営の安定を支援する事業（イ）

ア 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用肥育牛の粗収益が生産コストを下回った場合にその差額の一部を補てんする全国的な仕組みにおいて、契約生産者の肥育牛について申し込みにより個体登録事務をおこなうとともに、交付基準を満たした品種等について補てん金を交付しました。補てんは通常、四半期を単位としますが、肉用牛肥育経営の困窮に対応して、前年に引き続き、毎月交付を行いました。

契約戸数： 275 戸

登録頭数： 26,982 頭

(黒毛和種 10,263 頭、交雑種 12,870 頭、乳用種 3,849 頭)

補助戸数： 242 戸

補助頭数： 21,567 頭

(黒毛和種 2,509 頭、交雑種 15,024 頭、乳用種 4,034 頭)

イ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（緊急支援金返還業務）（補助：農畜産業振興機構）

原子力発電所事故の影響をうけ出荷自粛や牛枝肉価格下落により資金繰りが悪化した肉用牛肥育経営に、平成 23 年度において返還条件付補助金を交付した事業の支援金返還事務を実施しました。

対象戸数： 27 戸

ウ 畜産物価格安定対策事業（補助：群馬県）

肉用牛肥育経営安定特別対策事業において、個体登録頭数が前年度に比して増加した契

約生産者に対し、増加頭数に応じて生産者積立金への補助を実施しました。

補助戸数： 107 戸

補助頭数： 2,216 頭

エ 肉用牛肥育経営安定推進支援事業（自主）

肉用牛肥育経営安定特別対策事業において、補助金交付を円滑に実施するために必要な事務を行いました。

公 1(1) 畜産経営の安定を支援する事業（ウ）

ア 養豚経営安定対策事業（受託：農畜産業振興機構）

豚枝肉平均価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者と国の積立から差額の 8 割を補てんする事業の周知、指導、事務を実施しました。

対象戸数： 200 戸

公 1(2) 畜産経営の向上を支援する事業（ア）

ア 地域畜産支援指導等体制強化事業（補助：地方競馬全国協会）

本会が実施する畜産経営への支援活動、消費者等への理解増進活動、食育への参画、地方競馬の振興等に関する各事業を補完し、その効果を高めるための事業を実施しました。

対象事業： 13 事業

イ 経営流通対策事業（経営指導推進）（補助：群馬県）

畜産経営の経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成のための個別支援、畜産経営データベース等の情報化技術を活用した個別・集団支援、畜産経営の高度化に必要な情報の提供や支援、企業的経営等の多様なニーズに対応した経営支援等を実施しました。また、消費者等から求められる安全で安心な国産畜産物の生産、資源循環の中心としての畜産の役割を十分に果たす観点から、畜産農家が求める経営技術に有用な情報を提供しました。

支援戸数： 288 戸

ウ 畜産特別資金等推進指導事業（補助：中央畜産会）

借入金の償還に困難が生じている経営に低利、長期で貸付された畜産特別資金借入者の経営改善を促進するために、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導等を実施しました。

指導戸数： 26 戸

エ 都道府県酪農経営国産粗飼料利用体制強化事業（補助：中央畜産会）

自給飼料生産等に取り組む酪農生産者に対し、経産牛頭数に応じた強化奨励金を交付し

ました。

交付戸数： 14 戸

オ 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業（助成：中央畜産会）

自己の経営技術の水準等を知るために、ベンチマーキングの手法により評価を行い、その結果をもとに指導を行う仕組みについて、予備的な調査を実施しました。

カ 畜産動産担保融資活用事業（受託：中央畜産会）

畜産動産担保融資に関連して、生産者等の意識、考え方、今後の意向等について調査しました。また、畜産動産担保融資モデルを設定し、融資スキームの作成、問題点等を検討しました。

キ 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）（受託：中央畜産会）

日本政策金融公庫資金の貸付先等を対象に、計画作成支援、計画達成支援等を実施しました。

支援戸数： 2 戸

ク 乳用種初生牛生産費調査（受託：中央畜産会）

酪農経営から生産されるヌレ子の生産費用等の基礎データに関する調査を実施しました。

調査戸数： 10 戸

ケ 家畜改良増殖実態調査事業（受託：中央畜産会）

家畜改良増殖目標作成データに活用するため、県内における家畜飼養頭数調査を実施しました。

対象家畜： 乳牛、肉牛、豚、山羊、めん羊、馬、実験動物

コ 貸付事業指導等事業（受託：畜産近代化リース協会）

畜産近代化リース協会が貸付けた機械・車両等の保守管理及び適正な使用に関する指導を実施しました。

指導件数： 10 件

サ 畜産環境保全支援事業（自主）

補助事業等により設置したふん尿処理施設の抱えている課題等に関する現地調査および現地指導を実施し、さらに畜産環境保全に必要な知識の涵養を図る研修会を開催し、家畜ふん尿の適切な処理を推進しました。

現地調査及び指導戸数： 5 戸

シ 公共牧場活性化支援事業（自主）

家畜の育成等を目的とした県内公共牧場の管理技術等についての情報交換を支援するための研修会を開催しました。

対象牧場数： 9 牧場

ス 畜産協会情報提供事業（自主）

畜産農家に有用な情報等を掲載した情報誌を発行して、生産者、関係団体等に配布するとともに、本会ホームページにおいて広く情報提供しました。

発行回数： 4 回

発行部数： 611 部

セ 大家畜DB活用推進事業（自主）

中央畜産会が管理する大家畜経営データベースから得られる県内酪農経営及び肉用牛経営の生産情報の活用について、生産者等に広く啓発活動を行いました。

ソ 豚枝肉格付分析情報提供事業（自主）

豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた情報を四半期毎に提供して、豚枝肉品質改善を促進しました。

参加戸数： 71 戸

公1(2) 畜産経営の向上を支援する事業（イ）

ア 獣医師養成確保修学資金貸与事業（補助：農林水産省）

獣医学を専攻する学生のうちで産業動物獣医師を志す者に対し、共同負担者とともに修学資金を貸与しました。

貸与人数： 13 人

イ 酪農経営安定化支援ヘルパー事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農ヘルパーの業務において生じた財物の損害を補償するための保険料の一部に補助を受けました。

申請件数： 6 件

ウ 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農従事者が病気、事故等により就業不能となり、ヘルパー利用が一時的に増加した場合の利用料負担の軽減を図るため、増加分の経費の一部を補助しました。

補助件数： 43 件

エ 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務費（自主）

酪農ヘルパー傷病時等利用互助制度の運営、加入契約事務等を実施しました。

契約戸数： 424 戸

加入者数： 880 人

オ 酪農ヘルパー事業円滑化支援事業（自主）

酪農ヘルパーの育成・定着を図るために必要な体制の整備及び酪農ヘルパー要員の確保、ヘルパー作業の適切な実施に必要な資格の取得等に必要な経費に対する補助を実施しました。

補助組合数： 11 組合

カ 酪農経営安定化支援ヘルパー事業業務委託事業（受託：酪農ヘルパー全国協会）

酪農ヘルパー利用組合の組織運営体制の調査、加入農家等の利用実績管理状況及び加入農家等の利用実態等の調査を実施しました。

調査組合数： 13 組合

キ 畜産人材確保育成事業（自主）

畜産農家等への労働関連情報の提供及び労働相談や雇用に対するアドバイス、畜産農家の求人登録、畜産業に従事を希望する者の求職登録及び職業相談並びにあっせん、事業PR、新農業人フェアや新規参入希望者等との個別面談を通じた情報提供及び農家での体験実習を実施しました。

就農相談会： 4 回

相談・情報提供： 23 回

体験実習： 1 人

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（ア）

ア 生産振興対策事業（県産鶏卵販売強化）（補助：群馬県）

消費者に鶏卵の栄養知識を普及するための資料作成と活動を実施するとともに、イベントに参加し県産鶏卵の宣伝活動を実施しました。

イベント回数： 2 回

広告掲載： 3 回

冊子作成： 3,000 部

イ 牧場宿泊体験交流事業（自主）

酪農場を訪問し、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験教室を宿泊及び日帰りで実施し、畜産への理解を深めました。

実施回数： 2 回

参加者数： 63 人

ウ 群馬の堆肥普及事業（自主）

良質な堆肥を家庭菜園愛好者等に配布して、畜産に対する理解醸成と堆肥の利用促進を図りました。

参加者数： 500 人

エ 畜産普及啓発推進事業（自主）

「群馬県酪農畜産フェスティバル」において、馬事及び畜産に対する理解の促進を図るための下記のと催しを推進しました。

群馬県畜産共進会、豚肉試食会、畜産理解醸成パネル等展示

オ 地方競馬支援対策事業（自主）

地方競馬の振興と群馬県産畜産物の知名度アップを図るため、浦和競馬場において冠レースを開催し、副賞授与を行いました。

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（イ）

ア 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（補助：農林水産省）

24ヶ月令以上の死亡牛のBSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の輸送、検査に必要な経費の一部を補助しました。

補助戸数： 621 戸

補助頭数： 2,846 頭

イ 牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務（受託：日本畜産副産物協会）

牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に支払われる促進費の交付に必要な確認事務を行いました。

対象事業者数： 4 社

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（ウ）

ア 家畜防疫互助基金支援事業（補助：農畜産業振興機構）

海外悪性伝染病が発生した場合に、淘汰した牛、豚の代替畜の導入費用や殺処分した家畜の埋却費用の一部を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、普及啓発、参加手続き事務等を実施しました。

牛農場： 849 戸

豚農場： 213 戸

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業(エ)

ア 家畜生産農場清浄化支援対策事業(補助:農林水産省)

豚オーエスキー病、牛の流死産を引き起こす疾病の発生・流行防止のためのワクチン接種費用の一部を補助して、家畜の損耗防止と経営の安定を図りました。また、豚オーエスキー病の清浄化を促進するための感染豚の淘汰に補助しました。さらに、農場の生産衛生の改善に獣医師を派遣し、継続的な指導を実施しました。

1) ワクチン接種

牛	289 戸	9,147 頭
豚	85 戸	518,734 頭

2) 感染豚淘汰

補助戸数:	5 戸
補助頭数:	16 頭

3) 農場指導

牛農場:	151 戸
豚農場:	8 戸

イ 家畜衛生対策事業(補助:群馬県)

地域ぐるみによる飼養豚に対する豚オーエスキー病ワクチンの全頭接種を奨励するための補助金を交付しました。

補助戸数:	85 戸
補助頭数:	518,734 頭

ウ 豚オーエスキー病清浄化推進事業(受託:群馬県)

豚オーエスキー病の清浄化を推進するため、対策協議会の開催、清浄化推進データの蓄積、広報等を実施しました。

エ オーエスキー病抗体検査促進事業(自主)

豚オーエスキー病の早期清浄化を図るため、生産者がウイルス抗体保有状況を調査した実績に応じて奨励費を交付しました。

対象戸数:	39 戸
対象頭数:	479 頭

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業(オ)

ア 予防注射推進強化対策事業(助成:中央畜産会)

家畜防疫事業の推進と予防注射の実施の徹底を図るため、資料等を配付して普及啓蒙を図りました。

イ 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業（受託：中央畜産会）

調査戸数： 56 戸

ウ 馬飼養衛生管理特別対策事業（受託：中央畜産会）

競走馬以外の馬飼養者の衛生管理に関する調査を実施して、馬衛生管理技術の向上を図りました。また競走馬以外の馬飼養者を対象にした講習会を開催しました。

対象戸数： 30 戸

講習会： 1 回

エ 生産振興対策事業（優良はちみつ生産）（補助：群馬県）

抗生物質等の残留検査に対する補助を実施して、はちみつの品質向上を図りました。

検査件数： 131 件

オ 農場HACCP認証普及推進支援対策事業（受託：中央畜産会）

農場のリスクマネジメントに有用な方式であるHACCPの実施体制等について認証する「農場HACCP認証」の普及を図るため、農場における衛生管理の取組の現状、取組上の問題点等について調査し、農場HACCP構築支援を実施しました。

調査戸数： 2 戸

カ 農場HACCP普及促進強化事業（自主）

農場HACCP認証取得希望農場及び認証取得農場へのサポート力を強化するため、農場指導員レベルの素養を持った県内指導者を対象に、勉強会を開催しました。

参加者数： 延べ38人

キ 地域自主防疫活動強化緊急対策事業（受託：中央畜産会）

自主防疫活動の重要性についての普及啓発活動を行い、伝染性疾病の発生予防などの防疫措置の徹底に努めました。

活動カ所数： 10カ所

ク 野生獣衛生体制整備緊急対策事業（受託：中央畜産会）

家畜疾病の感染源となりうるイノシシ、シカ等の抗体保有状況等を調査するため、狩猟者等との連携、協力を図り、検体の検査機関への送付、検査結果のとりまとめ等を行いました。

イノシシ： 12 頭

シカ : 12 頭

ケ 家畜衛生推進事業（自主）

家畜生産農場清浄化支援対策事業の補完事業として、事業を円滑に実施するために必要な事務、予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い事務等を実施しました。

牛	381 戸	12,562 頭
豚	125 戸	643,126 頭

公1(4) 家畜の能力向上を促進する事業

ア 家畜改良推進事業（生産性向上対策）（補助：農林水産省）

生涯生産性等の評価に必要な乳用牛の体型データの収集を行いました。

調査頭数： 702 頭

イ 肉用牛経営安定対策補完事業（補助：農畜産業振興機構）

1年間に繁殖雌牛の飼養頭数が増加した事業参加経営に対し、実績に応じて奨励費を交付しました。

交付対象戸数： 26 戸

交付対象頭数： 80 頭

ウ 生産振興対策事業（家畜登録促進）（補助：群馬県）

家畜の能力改良を促進するため、家畜の血統整理や登録・登記を推進しました。

	登録・登記・ 審査・検定	調査及び 移動証明
乳牛	4,050 頭	619 頭
和牛	6,276 頭	1,535 頭
種豚	285 頭	2,388 頭
山羊	71 頭	11 頭

エ 生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（補助：群馬県）

群馬県畜産試験場等で畜種ごとに家畜共進会を開催しました。

出品頭数

乳牛： 77 頭

繁殖和牛： 67 頭 10 組

山羊： 30 頭

オ 生産振興対策事業（優良繁殖雌牛増頭）（補助：群馬県）

① 優良繁殖雌牛導入

一定の要件を満たして肉用牛生産者集団が導入した優良繁殖雌牛に対して補助を行い、

本県肉用牛繁殖基盤の強化を図りました。

導入戸数： 28 戸

導入頭数： 36 頭

② 育種価評価活用促進

繁殖牛の育種価データの評価・解析により育種価情報を提供するとともに、解析結果を活用した育種価の普及促進のための研修会を開催しました。

データ数： 64,544 件

評価頭数： 5,037 頭

カ 生産振興対策事業（高能力純粋種豚安定供給体制確立）（補助：群馬県）

① 優良純粋種豚導入

海外及び国内から優良種豚を導入して種豚生産者組織を通じて生産者に貸し付けました。

導入頭数： 31 頭（デンマーク 12 頭、国内 19 頭）

② 生産管理指導

種豚生産農場における飼養管理技術の向上を図るため、衛生管理状況および種豚生産利用調査を実施しました。

調査戸数： 16 戸

キ 和牛全共出品対策事業（特別：家畜改良積立金）

第 10 回全国和牛能力共進会出品牛作出のための計画策定、優良な受精卵導入への補助、出品候補牛調査、広報活動等を実施しました。

ク SNP 活用効率的肉用牛生産技術開発事業（受託：家畜改良事業団）

肉用牛の遺伝的評価法を開発するための SNP 分析に必要な県内飼養繁殖牛の毛根採材業務、特定系統雌牛の導入及び管理事務を実施しました。

採材頭数： 462 頭

預託頭数： 20 頭

ケ 肉用牛産肉能力平準化促進事業（受託：家畜改良事業団）

肉用牛の産肉能力を評価するために種雄牛を指定して交配する「調整交配」を実施し、その結果を調査してとりまとめました。

調整交配実施頭数： 99 頭

生産調査牛： 64 頭

コ 家畜共進会運営強化推進事業（自主）

地域で行う家畜共進会関連事業の実施に必要な費用の一部を助成しました

対象団体数： 6 件

対象頭数： 227 頭

サ 山羊生産活用推進事業（自主）

山羊の生産振興及び活用支援のため、県内山羊生産者を対象とした交換会を開催しました。

シ 和牛期待育種価情報提供サービス事業（自主）

肉用牛繁殖農家、家畜人工授精師、獣医師及び畜産関係団体を対象として、父牛及び母牛の育種価から推定される生産子牛の期待育種価情報を、本会が開発したシステムによりインターネット上で提供しました。

（2）収益事業等

収1(1) 家畜の登録団体からの業務委託に関する事業

ア 家畜登録事業（自主）

家畜の血統管理と能力向上のために畜種ごとの登録団体が全国的な規模により実施している家畜の個体登録に必要な情報の収集と手続きを行いました。

	登録頭数	登記頭数	遺伝子型 検査頭数
乳牛	3,358 頭	—	146 頭
和牛	678 頭	5,598 頭	1,293 頭
種豚	90 頭	195 頭	—
山羊	71 頭	—	—

イ 家畜登録円滑化事業（自主）

家畜の登録を円滑に進めるために必要な活動を行いました。

収1(2) 畜産生産者からの事務受託等に関する事業

ア 養豚経営安定対策推進事業（自主）

豚枝肉価格が保証基準価格を下回った場合に、契約を締結した肉豚生産者に対してその差額の8割を補てんする事業への参加申し込み、補助金受け取り手続き等の事務を参加者から受託しました。

受託戸数： 148 戸

契約頭数： 495,080 頭

収 1(3) 畜産団体からの事務受託に関する事業

事務受委託契約に基づき、以下の団体の事務を受託しました。

- ① 群馬県養鶏協会
- ② 群馬県種鶏孵卵協会
- ③ 群馬県養蜂協会
- ④ 群馬県養豚協会
- ⑤ 群馬県乳牛改良協会
- ⑥ 群馬県和牛改良組合連絡協議会
- ⑦ 群馬県家畜人工授精師協会
- ⑧ 群馬県畜産技術連盟

他 1(1) 畜産の振興を図る事業

ア 牧草地除染対策事業（自主）

放射性物質汚染により使用ができなくなっている永年生牧草地の利用者に除染作業を委託し、その費用を東京電力からの賠償金により賄う事業を実施しました。

委託戸数： 5戸

対象面積： 18.05ha

イ 「群馬の豚」生産推進事業（自主）

登録要件を満たす農場をホームページに掲載するとともに、統一マークの使用を許諾して、群馬県産豚肉の認知度アップを図りました。

登録件数： 7件